

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2018年1月)

平成30年2月  
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 3日、ウルドゥ・アッベス国民解放戦線（FLN）党首は、シディ・サイード全国労働者連盟（UGTA）事務局長及びハダッド経営者フォーラム（FCE）代表との平行三者会合を開催。
- 3日、地方研修医数百名が待遇改善を求め首都の病院内にて座込みスト。
- 8日、ブーテフリカ大統領は、先月の人工衛星アルコムサット打上げを受けた祝賀会にて、中国で研修を受けたアルジェリア人技術者を称賛する旨声明。
- 12日、ベルベル新年たる2968年「ヤンナーイル」の祝賀会、各地で開催。
- 13日、ハズベラーイウィ保健・人口・医療改革大臣は地方研修医の代表と初めて会合し、いくつかの要求に応じる用意を表明。
- 18日、ブーテフリカ大統領は、地方議会議長全国会合にて、新たな課題には自力で対処し、官僚主義の弊害に立ち向かうよう声明。ベドゥイ内務・地方自治・国土整備大臣は、2018年の地方開発事業に1億ディナールが当てられていると演説。
- 20日、ウーヤヒヤ民主国民連合（RND）党首（首相）は第4回RND全国党大会後の記者会見にて、ブーテフリカ大統領が2019年に5選を目指すのであれば、同党首は同大統領を支持すると改めて表明。
- 下旬に至っても、地方研修医及び学校教員のストは継続し、患者や生徒保護者の不満うっ積。

2 外交

- 5日、メスドゥーア駐仏大使、パリの人類博物館に所蔵されているアルジェリア解放闘争者の頭蓋骨と1830年から1962年の間の古文書の返還を仏政府に求める。
- 7日、中国の軍艦がアルジェ港に5日間の日程で寄港（ミサイル駆逐艦「海口」、ミサイル・フリゲート艦「岳陽」及び補給艦「青海湖」の3隻）。
- 9日、ベンメラディ商業大臣、チェ当地北朝鮮「大使」と会談。
- 13～14日、マイガ・マリ首相、首相就任後初の外国訪問として来訪し、ブーテフリカ大統領を表敬し、ウーヤヒヤ首相と会談。
- 25日、メサヘル外務大臣はエチオピアを訪問しアフリカ連合執行理事会に

出席，ウォックナー・エチオピア外務大臣と会談，AUの外国支援依存を減らすための評価閣僚級委員会議長を務める。26日，南スーダン特別委員会閣僚級会合出席。27日，サラメ・リビア担当国連特使と会談。

### 3 治安

- 13日，エル・ウェッド県で軍はテロ対策の一環でテログループ支援者1人を逮捕。
- 14日，ブーメルデス県ベンシュード地区で軍は、テロリスト3人を殺害し，カラシニコフ小機関銃2丁、弾薬等を押収。
- 16日，ブイラ県で軍は，同県北西部のマキに潜伏するテログループに治安部隊の動向に関する情報等を流していた支援者1人を逮捕。
- 16日，シュレフ県及びジェルファ県で軍はテログループ支援者4人を逮捕。
- 19日，オラン県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 19日，セティフ県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 20日，スーカハラス県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 21日，スーカハラス県で軍はテログループ支援者3人を逮捕。
- 22日，バトナ県で軍はテログループ支援者9人を逮捕。
- 23日，バトナ県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 26日，ヘンシュラ県シェルシャル地区で軍は，テロリスト8人を殺害しカラシニコフ小機関銃5丁，狙撃銃1丁，シモノフ半自動銃1丁，弾筒14個及び手榴弾4個を押収。
- 26日，バトナ県で軍はテログループ支援者1人を逮捕。
- 30日，ジジェル県ボルジ・タヘール地区で軍は，テロリスト2人を殺害しカラシニコフ小機関銃2丁，ポンプ銃1丁及び弾薬多数を押収。
- 31日，メデア県ウレッド・ヘラル地区で軍はテロリスト2人を殺害しカラシニコフ小機関銃2丁，弾薬等を押収。

### 4 経済

- 1日，2018年予算法施行を受け，ガソリン等の消費財が値上がり。
- 2日，ベンメラディ商業大臣は2018年も乗用車，トラック及びバスの輸入は行わないとテレビ番組で発言。
- 4日，ギトゥーニ・エネルギー大臣は現在改定作業が進められている炭化水素法に関して，出資比率規制（いわゆる51/49規制）の変更はしないと再度発言。また，200メガワット分の再生可能エネルギー開発プロジェクトが間もなく着手されると発表。
- 4日，アルジェリア航空が中国民用航空局（CAAC）から，要求されるパ

パフォーマンスを満たしていないとして、2018年3月末まで中国への定期便及び新規航路の追加申請を禁止される制裁措置を受けた旨各紙報道。

●7日、ザアラーン公共事業・運輸大臣は、シェルシェル中央港の詳細な計画案が承認され、既に事業を請負う企業グループが建設予定地入りしていると発表。また、同港は将来的に東西高速道路や鉄道網とも接続され、経済活動を活性化させると発言。

●8-9日、ギトゥーニ・エネルギー大臣がイラクを訪問し、ソナトラック社がイラクの石油及び天然ガスの開発に協力する旨の協定に署名。今後さらに複数の契約が締結される予定と発表。

●9日、ベシャールの漁業当局は、2018年に入ってから既に5.5トンの淡水魚がチュニジアに輸出されたと発表。

●10日、当面輸入が停止される851品目のリストが掲載された1月7日付政令が掲載された官報が公表。

●10日、世界銀行は定期報告の中で2018年のアルジェリアの国内総生産成長率を3.6%とする予測を発表。2017年6月発表の前回報告から上方修正。

●10日、公共交通機関運賃5ディナール値上げ。

●14日付各紙は、11日付大統領府声明により、公企業の民営化や株式の譲渡には事前に大統領の承認を受けなければならないとの指示が出された旨報道。

●14日、ザアラーン公共事業・運輸大臣は、輸出の需要を満たすために海運及び航空の貨物輸送を私企業の参入に開くと発表。航空郵送に関しては既に1998年に私企業参入を認める法令が制定されたものの凍結されていた。

●15日、当地企業GGIとヒュンダイ・モーター・コーポレーションがパートナー契約を結び、バトナ県に建設された工場でCKD方式による自動車生産を行う旨発表。将来的に40%超の現地統合率を目指し、年間1万台から2万台を生産。

●15日、ソナトラック社はリビアの国営石油企業(Noc)と国境地帯の炭化水素の採掘管理に関して、両者の協力を強化する基本協定に署名したと発表。

●15日、ザアラーン公共事業・運輸大臣は国民評議会の財政・予算委員会の会合で、アルジェリア航空の債務が2017年末までに110億ディナールに上っていることを明らかにした上で、同社の民営化の可能性は否定。

●15日、ルノー・アルジェリアは2017年の当地自動車市場において62.8%の占有率を記録したと発表。前年比11%増。マグレブ三国での市場占有率は前年比5.6パーセント増の42.4%。また同社は当地の自動車需要を26万台超と予測し、ウエド・トラレット(オラン県)の工場だけで2018年に8万台の生産を計画している旨表明。

- 20日、アルジェリア経営者フォーラム（FCE）は総会を開き、組織の法人格を「組合」へと変えることを決定。
- 21日、2017年のアルジェリアの貿易赤字が前年比34.4%減の11億9千万ディナールであったと発表。
- 27日、自動車生産・組み立て事業のオペレーターの数を制限する首相決定について、新たにKIAブランドの車両を生産するGLOVIZ、フォトン（福田汽車）のトラックを生産するKIV、大宇エンジン、エミン・オートの四社の事業が追加で認められる旨報道。
- 25～28日、アシャイブ・グループのアシャイブ会長が同社のいすゞ、フォード、KIA、大宇等とのパートナーシップによる自動車組立て工場建設計画やスズキ等の新車販売事業がアルジェリア政府によって不当に阻害されているとして、ブーテフリカ大統領宛ての公開書簡をリベルテ紙及びエル・ワタン紙に掲載。
- 28日、2017年11月28日付官報で公表された車両生産・組み立て事業に関する政令及び新仕様書について、政府が修正を進めている旨報道。

#### 5 日本との関係

- 16日、イナメナス事件から5周年。カドゥール・ソナトラック社会長はスタットオイルやJGCの代表者らと共に事件現場となったティゲントウリンの天然ガス関連施設に赴き、40人あまりの犠牲者達のために黙祷。
- 31日、藤原大使がアルジェ第3大学にて「安倍政権下の日本と日アルジェリア関係」と題して講演し、2月1日付シャアブ紙等が記事掲載。

#### <アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月7～8日	イラク	ギトゥーニ・エネルギー大臣	マアスーム大統領を表敬。ルエイビ・エネルギー大臣と会談。カドゥール・ソナトラック社会長同行。
1月8～9日	エチオピア	ハメル警察庁長官・アフリカ警察機構総裁	第13回アフリカ国防参謀長及び安全・治安責任者会議に出席。ムーサ・ファキAU委員会委員長、アビユ・エチオピア連邦警察長官と会談。
1月11日	ルワンダ	ラウイア財務大臣	アフリカ連合財相委員会（F10）に出席

1月13日	マリ	ベンメラディ商業大臣	バマコ国際フェアを訪問。ケイタ大統領を表敬。
1月15～17日	イラン	ブハジャ国民議会議長	第13回イスラム協力機構議会連合会議に出席。ローハニ大統領を表敬し、ラリジャニ・イラン国会議長と会談
1月20～21日	オマーン	ギトウーニ・エネルギー大臣	センチュリン・ガス輸出国フォーラム（GECF）事務局長と会談。第7回OPEC・非OPEC産油国閣僚級モニタリング合同委員会に出席
1月22日	チュニジア	エッダリア国民連帯・家族・女性大臣	トラベルシ社会政策大臣と会談
1月22日	リベリア	ベンサラ国民評議会議長	ブーテフリカ大統領の特使としてウェア大統領就任式に出席
1月22日	英国	ベンゲブリ国民教育大臣	世界教育フォーラムに出席
1月23日	スイス	メサヘル外務大臣	ブーテフリカ大統領代理としてダボス会議に出席
1月24日	南アフリカ	メデルシ憲法評議会議長	第9回アフリカ憲法裁判所会議事務所会議に出席
1月24～27日	エチオピア	メサヘル外務大臣	25日、アフリカ連合閣僚執行理事会に出席
1月26～29日	エチオピア	ウーヤヒヤ首相	ブーテフリカ大統領の代理として第30回アフリカ連合総会、第36回「アフリカ開発のための新パートナーシップ」会合及び平和・安全保障理事会に出席。
1月29日	米国	ギトウーニ・エネルギー大臣	アルジェリア・米国エネルギー・フォーラム出席、カドゥール・ソナトラック社会長同行
1月29日	キューバ	ハズベラーウィ保健・人口・医療改革大臣	第21回アルジェリア・キューバ協力合同委員会に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月7日	チュニジア	ブラヘム内務大臣	ベドゥイ内務大臣と会談
1月13～ 14日	マリ	マイガ首相	ブーテフリカ大統領を表敬。ウーヤヒヤ首相と会談。
1月14日	マリ	クリバリ外相	メサヘル外務大臣と会談
1月17日	アラブ教育 文化科学機 関（ALE SCO）	ハルビー事務局長	メサヘル外務大臣と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬しブーテフリカ大統領宛ての顕彰盾を手交
1月15～ 17日	ヨルダン	コダット商業・産 業・調達大臣	11年振りに開催された第8回アルジェリア・ヨルダン合同委員会に出席。ユースフィー産業・鉱業大臣と会談
1月19日	ナイジェリア	オンエアマ外務大 臣	第4回二国間協力上級委員会に出席。メサヘル外務大臣と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
1月20～ 21日	モーリタニア	アフマド・イジード ビヒ外務大臣	メサヘル外務大臣と会談。第14回「5+5対話」外相会合に出席
1月20～ 21日	チュニジア	ジヒナウイ外務大 臣	同上
1月20～ 21日	リビア	シアーラ外務大臣	同上
1月20～ 21日	イタリア	アルファーノ外務 大臣	メサヘル外務大臣とリビア情勢等につき協議。第14回「5+5対話」外相会合に出席
1月21日	フランス	ル・ドリアン欧州・ 外務大臣	第14回「5+5対話」外相会合でメサヘル外務大臣と共同議長
1月21日	マルタ	アベーラ外務大臣	第14回「5+5対話」外相会合に出席。メサヘル外務大臣と会談
1月21日	EU	ハーン欧州委員（欧	同上

		州近隣政策・拡大交渉担当)	
1月21日	ポルトガル	シルバ外務大臣	同上
1月21日	モロッコ	ブリタ外務大臣	第14回「5+5対話」外相会合に出席同上
1月21日	スペイン	ダスティス外務大臣	同上
1月21日	サウジアラビア	トルキー・ビン・ムハンマド・ビン・ファハド殿下・国王顧問	ブーテフリカ大統領を表敬
1月22日	インドネシア	ウィラジュダ大統領特使	ブーテフリカ大統領を表敬
1月22日	ジンバブエ	ムナンガグワ大統領	トランジットにてアルジェ空港着。ブハジャ国民議会議長が応接
1月22日	レソト	モクヘレ警察・公共安全大臣	ハメル国家安全保障局長官と会談
1月30日	ロシア	パトルシェフ安全保障会議書記	第3回二国間戦略対話の枠組みで訪問。メサヘル外務大臣と会談。ブーテフリカ大統領を表敬
1月30日	ベルギー	レンデルス副首相兼外務大臣	メサヘル外務大臣と会談, ウーヤヒヤ首相, ブーテフリカ大統領を表敬

(了)